



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

とうきょう すくわくプログラム

活動報告書

久米川なかよし保育園

よつばぐみ（2歳児）

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名

久米川なかよし保育園

施設所在地

東京都栄町1の6の1 リシエス久米川1号B号室

法人名

鷺沼なかよし保育園

1 活動のテーマ

4探究活動の実践

音

〈テーマの設定理由〉

子どもたちが公園や生活の中で音に興味をもっていたので
身近なものや楽器を通して音について
深めていきたいさまざまな音を知っていく

普段遊ぶ公園に葉っぱがたくさんあることに気づき季節の変化を知る。葉っぱをたくさん集めて上に投げてみたり、その場で足踏みをして感触や音を楽しむ。普段の生活の中でも、音を楽しんでいる姿があったのもっと色々な音への興味を深めるために、葉以外にも川沿いに出かけてみる。そこでは石の硬さや石と石のぶつかった音を楽しみながら散策を続ける。音を集中してそれぞれが聞くために紙コップを貫通させ道具を作る。公園や広場では紙コップを使って地面を覗いたりすると『虫の音がする』や木に耳をあて『すーってお話ししてる』と自分たちが聞こえた音から世界を広げ友だちに伝え楽しんでいた。

2 活動スケジュール

- 11月 身近な場所の音を聞く
- 12月 自然の音(葉)
- 1月 自然の音(川沿い)
- 2月 子どもの声を聞く、職員と園内研修
- 3月 もっと聞いてみよう、保護者向け掲示



3活動のために準備した素材や道具、環境の設定

5振り返り

〈素材・道具〉

バケツ、ふるい、紙コップ

〈環境設定〉

子どもが聞こえる音に興味をもてるように部屋の中の音や散歩先
部屋の中の音に耳を傾ける。紙コップを切り抜き音が集中して聞けるよ
う道具を準備し自然の音を聞ける公園に出かける。

身近にある音から戸外まだたくさんの音を子どもと聞きに行き、色々な音に触れることができた。音を聞いていく中で子どもたちから『これはなんの音?』『静かにしているとよく聞こえる』など発見もあり成長を感じた。特に自然の音はその行く場所によって違ったので風が吹いた時の音、とりの鳴き声など楽しみながら見つけれられていた。

1 活動のテーマ

音

2 問いに答える

身近に聞こえてくる音に
耳を傾ける

- 1 1月 身近な場所の音を聞く
- 1 2月 自然の音(葉)
- 1月 自然の音(川沿い)
- 2月 子どもの擬音を聞く
- 3月 もっときいてみよう

3 環境をデザインする 活動のために準備した素材や道具

- バケツ
- ふるい
- 紙コップ

子どもが聞こえる音に興味を持てるように、部屋の中の音や散歩先の音に耳を傾ける。紙コップを切り抜き自分の聞きたい音に集中できるようにもする。また子ども自身が聞こえた音を擬音化した声を聞いていく

4 探究活動の実践

ガリガリ石の道



木の話し声が聞こえるよ



川は

ざあー
ざあー



ぷちぷち
木の実



いっぱい集めたら大きな音になるかな!?



なんの音?



トントントン

葉っぱは



ざくざく

むしさん
ねてるかな



5 振り返り

身近にある音から戸外の音までたくさんの音に触れることができた。子ども自身も「ぶーんってなんの音でしょうか？」など擬音をクイズにして遊ぶ様子が見られ、遊びの幅が広がったように感じた

大きい音、小さい音への関心が深まった。普段の活動の中でも『今はありさんの声かな？』『お歌は飛行機の声で歌いたい』と声の大小を自分達で認識し例えられる子もいた。

「自然の音を聞く際に友だち同士で、協力し大きな音にしようとする姿が見られた。1枚の葉っぱよりたくさんの葉を集めることで大きな音になりそのまま葉っぱのプールに発展もさせていて楽しそうだった。



手や足の全身を使って音を探したり、出したりしていた。直接、触れることで五感も刺激され様々な経験を出来ていたと思う。特に、秋冬はたくさんの葉や木の実を見つけられ触感も使っていた。

散歩先でも保育者に「今の音なに？」と興味を持つことが増えた。同じ音でも公園で聞こえる音と部屋で聞こえる音で子どもたちは違うように感じるときもあった。

音に興味をもち、楽器などに触れる機会も増えた。もともと、歌が好きな子たちだったので歌いながら戸外では木を太鼓に見立てて叩いたりしながら友だちと遊んでいた。見立て遊びにもつながっていき遊びも増えていたので良かった